
閉会挨拶



渡辺 正

〈愛知大学副学長〉

長時間にわたり、熱心に御清聴いただきましてありがとうございます。

ただいまのご講演にもございましたように、中国をめぐる諸関係というものは大変複雑であるとともに、国際化のなかで、きわめて流動的でございます。

そうした状況のもとで今回私どもの愛知大学が21世紀 COE プログラムに採択されました、国際中国学研究センタープログラムは大変大きな役割を持っているというふうに考えております。この事業はこれまでの愛知大学の中国研究教育の歴史と実績を踏まえながらも急速に展開しております国際化の中で、新しい国際的な中国学の構築、そして、その理念に基づく優れた人材を養成する創造的な教育を目指すものであります。愛知大学にとりましては、大変大きな挑戦的な事業というふうに考えております。

私ども愛知大学は加々美教授を拠点リーダーとする ICCS のメンバーを中心に、着実に成果を生み出し、社会的期待に答えると同時に役割を果たすべき努力を傾注したいと考えております。しかしまた一方でこの事業を成功させるためには、本日お集まりの皆様はじめ、この地域の行政、産業界、学界、そして広く市民の皆様のご協力、ご支援が必要です。この点もよろしくご指導、ご鞭撻をお願い申し上げたいとおもいます。

最後にご多用のところ、ご出席をくださり、充実した記念講演会にご協力いただきました、講師の皆様、ご来賓の皆様、そしてご来場の皆様に改めて大学を代表しまして御礼と感謝を申し上げて、閉会のご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。